

統一地方選挙 候補者に対するハラスメント被害のアンケート調査結果（市町議会候補者）

1 調査概要

本調査は、令和5年の統一地方選挙（4月9日投票（前半）福岡市議会議員選挙、4月23日投票（後半）市町議会議員選挙（29市町））の候補者に対しアンケート調査を実施。

市町議会議員候補者（アンケート対象者※）653人中347人より回答を得た（回答率53.1%）。

	全体	性別		
		男性	女性	記載なし
アンケート対象者	653人	542人	111人	
アンケート回答者	347人	280人	62人	5人
回答率	53.1%	51.7%	55.9%	

※市町議会議員候補者は677人、そのうちアンケート票が送付できる住所等が把握できたアンケート対象者が653人

2 調査結果

（1）ハラスメントの実態

① 選挙期間中に、ハラスメントを受けたか、という質問に対して、

アンケート回答者347人中72人から「ハラスメントを受けた」との回答があった。

（選挙期間中にハラスメントを受けましたか）

	全体	性別		
		男性	女性	記載なし
アンケート回答者	347人	280人	62人	5人
ハラスメントを受けたと回答	72人	45人	26人	1人
ハラスメントを受けた割合	20.7%	16.1%	41.9%	

・アンケート回答者の概ね5人に1人がハラスメントを受けたと回答

② ①でハラスメントを受けたと回答した方（72人）に対し、ハラスメントを受けた者及びハラスメントの内容について質問したところ、以下の回答があった。

（誰がハラスメントを受けましたか）（複数回答可）

候補者本人	候補者の親族	候補者の補助者	その他
67	22	14	4

(参考) ②候補者本人がハラスメントを受けた回答の年代別、性別内訳

	全体数	20～30代			40代～50代			60代以上		
		合計	性別		合計	性別		合計	性別	
			男性	女性		男性	女性		男性	女性
アンケート回答者	339人※1	21人	16人	5人	125人	103人	22人	193人	159人	34人
ハラスメントを受けたと回答	65人※2	13人	8人	5人	27人	18人	9人	25人	16人	9人
ハラスメントを受けた割合	19.2%	61.9%	50.0%	100%	21.6%	17.5%	40.9%	13.0%	10.1%	26.5%

・20～30代のアンケート回答者でハラスメントを受けたと回答した割合が高い

※1 「アンケート回答者」347人のうち性別又は年代の記載がない8人のデータは除く

※2 性別又は年代の記載がない8人中2人が、候補者本人がハラスメントを受けたと回答しているため、同項目67人中その2人のデータは除く

(どのようなハラスメントを受けましたか) (複数回答可)

	市町議会議員候補者				合計
	本人	親族	補助者	その他	
1 身体的暴力 (殴る、掴むなど)	4	1	0	0	5
2 性的なハラスメント (触る、抱きつくなど)	6	1	1	1	9
3 付きまとい、ストーキング	2	0	1	0	3
4 暴力的な言葉 (ヤジを含む) による嫌がらせ	26	5	8	2	41
5 性的な言葉による嫌がらせ	4	2	3	1	10
6 SNS、メール、怪文書等による中傷、嫌がらせ	27	4	1	1	33
7 性別に基づく侮辱的な態度や発言	6	1	2	1	10
8 投票、支持の見返りに何らかの行為を要求	20	4	4	0	28
9 年齢、婚姻状況、出産や育児などプライベートな事柄についての批判や中傷	23	10	4	1	38
10 その他	11	3	2	2	18

・候補者本人については、「6 SNS、メール、怪文書等による中傷、嫌がらせ」の項目が最も多く、その他にも4、8、9の項目が多い

・親族については、「9 プライベートな事柄についての批判や中傷」の項目が最も多い

・補助者については、「4 暴力的な言葉による嫌がらせ」の項目が最も多い

③ 具体的な内容について、主なものは以下のとおり

- ・ 威圧的、脅迫的な発言、応援の見返りを求める要求などを受けた
- ・ 同一の支援者から電話で多くの質問、意見などが述べられ、切るに切れない状態を作られる。また、クレームの電話などについても何度も繰り返し行われる
- ・ 抱きつく等の行為や言葉によるセクシャルハラスメントに該当する行為を受けた
- ・ 女性議員の支援者宅等を訪問し、同女性議員は暴力団と付き合いっており、被害者の会がある等の虚偽の話をして、噂話を広めようとした

(2) ハラスメントをなくすための取組

- ① 政治家に対するハラスメントをなくすための取組として、有効であるとの回答が最も多かった取組は、「ハラスメント相談窓口の設置」であった。

(政治家に対するハラスメントをなくすため、次の取組の有効性をおたずねします)

取組項目		回答者
A ハラスメント相談窓口の設置	有効	213
	どちらでもない	66
	有効でない	15
	不明	6
B 議員等向けハラスメント研修	有効	186
	どちらでもない	81
	有効でない	20
	不明	10
C 相談内容や調査結果の公表	有効	203
	どちらでもない	78
	有効でない	11
	不明	4

- ② 上記以外に、ハラスメント防止に有効だと思う取組について、提案があったものは以下のとおり

- ・ 具体的事例を示したチラシなど、啓発用グッズの作成・周知
- ・ ハラスメント研修を繰り返して実施
- ・ 悪質な事案に対する罰則の強化・公表
- ・ 立候補者事前説明会を活用したハラスメント研修（候補者間のハラスメント抑止）